

市役所課 御中

群馬大学 大学院理工学府 教授 藤井雄作

「通学路への防犯カメラ導入」に関するアンケート調査 ご協力をお願い

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私達は、防犯カメラ、特に、プライバシー保護に配慮した防犯カメラシステムについて、研究開発に取り組んでいます。この度、全国の自治体(都道府県、指定都市、市、特別区)における、「通学路への防犯カメラ導入」について、その現状と将来像に対するアンケート調査を行うこととなりました。アンケートの取り扱いについては、個別の回答が公開されないことがないように、統計処理をした結果のみを公開いたします。今後、全国の自治体が、防犯カメラの通学路への導入の方法・数量等を検討する上で役立つ、基礎データを提供できるものと考えております。つきましては、アンケート調査にご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

【通学路への防犯カメラ導入の動き】

平成26年度から、自治体による、通学路への防犯カメラ導入の動きが出てきました。例えば、東京都では、公立小学校1300校の通学路に対して合計6500台(1校あたり5台)の防犯カメラを導入する計画が発表されました。「自治体が、通学路の見守りに責任を持つ。その手段として、防犯カメラを用いる。」という考え方は、従来になかったものです。

【通学路に防犯カメラを導入する効果】

防犯カメラの前を通るヒト・車両を全て録画することにより、犯罪抑止、容疑者特定に、大きな効果が期待されます。ただし、一校あたり10台程度の導入では、死角が大きいことも懸念されます。

【通学路の導入に適した防犯カメラの導入コスト】

繁華街等と比べ、事件・事故の発生頻度が少ない通学路に導入する防犯カメラとしては、監視室での常時モニタは非合理的であり、カメラ本体に内蔵したメモリカードに1週間程度の画像を上書き保存するタイプが、コスト的に適していると考えられます。現在、内蔵したメモリカードに画像を録画保存するタイプのカメラの導入コストは、機種により開きがありますが、概ね20~50万円/台のようです。

一方、国内一流メーカーのLED街路灯は2万円程度で市販されており、また、常時録画タイプのドライブレコーダは2万円程度で市販されています。例えば、これら2つを単純に合体させ、大量生産することで、「防犯カメラ付きLED街路灯」が、1台5万円程度で市販可能になると考えます。街路灯の交換時期に合わせることで、取り付け工事費を節約することができます。

【プライバシー保護の方法】

防犯カメラの導入を妨げる最大の要因は、「プライバシー侵害の可能性」であるようです。現在、多くの自治体では、「[運用ガイドライン](#)」に基づいた運用方法の工夫により、プライバシー侵害の可能性を排除・低減しようとしています。一方、それに加え、「[画像の暗号化保存](#)」、「[閲覧権に応じた閲覧画像の不鮮明化](#)」などの[プライバシー保護のための新しい技術](#)の導入により、より確実なプライバシー保護の実現を目指す提案もあります。これらの提案の詳細については、下記「[情報提供サイト](#)」をご参照ください。

【情報提供サイト(関係者向け)】

下記URLに情報提供サイトを開設しました。(または、右のQRコード。)

<http://www.e-jikei.org/survey/survey.htm>

- 本アンケートの集計結果も、掲載予定です。(登録メールアドレス宛にお知らせします。)
- 近い将来に実用化されると予想する「ネットワークに接続された防犯カメラシステム」が発揮するであろう容疑者追跡・被害者救出における絶大な効果と、その際のプライバシー保護法についても、説明しています。



【お問合せ先】お気軽にお問い合わせください。

群馬大学 大学院理工学府 教授 藤井雄作

電話：0277-30-1756 / FAX：0277-30-1757 / 電子メール：fujii@gunma-u.ac.jp